

初期潮位条件について

・津波浸水想定を設定するためのシミュレーションにおける初期潮位は、「津波浸水想定の設定の手引きVer1.20」および四国4県の協議により、潮位観測所で近年観測した朔望平均満潮位と港湾構造物設計に用いる朔望平均満潮位を比較し、高い潮位を採用する。

・採用した潮位を基本とした上で、県内でなだらかに繋がるよう、潮位観測所間に点在する港湾等の潮位で検証、補完し、県内の初期潮位を設定する。また、海岸保全基本計画のゾーン分け等を参考にするとともに、隣接県の設定潮位との整合を図る。

◎県内潮位観測所の各種潮位

単位:T. P. m

潮位観測所	観音寺	詫間	丸亀	坂出	土庄東	高松	三本松
近年の朔望平均満潮位※ ¹	2.006	1.683	1.714	1.574	1.213	1.246	1.026
港湾構造物設計に用いる朔望平均満潮位※ ²	1.951	1.775	1.735	1.592	1.053	1.087	0.867
平成24年8月29日内閣府公表潮位※ ³	1.95	1.89	1.73	1.76	0.96	1.23	0.71
前回被害想定 of 潮位(Z0) ※ ⁴	2.10	2.00	1.80	1.70	1.20	1.40	1.10

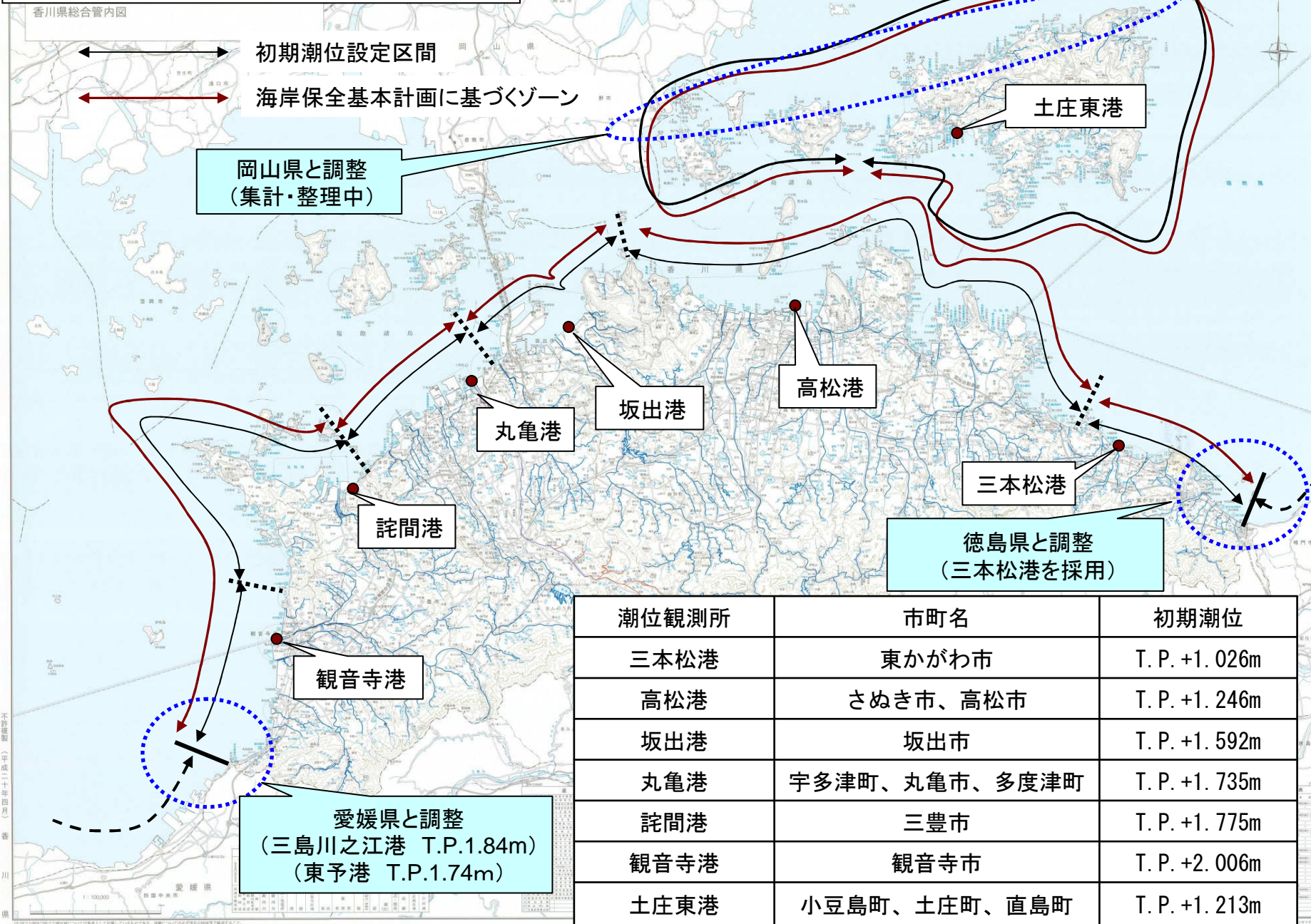
※1:各潮位観測所における5ヵ年(2007年~2011年)の朔望平均満潮位の平均値

※2:香川の港湾 2007(香川県土木部港湾課)

※3:平成24年気象庁潮位表の年間最高潮位により設定

※4:Z0とは海図の高さの基準であり、ある地点における朔望満潮位と朔望干潮位の差の概ね半分の値で海上保安庁海洋情報部が設定

初期潮位条件の設定について



不詳複製 (平成二十年四月) 香川